

光明相模原、人工芝グラウンド完成

2年後の100周年見据え、周年事業の柱に

「息づく智慧と慈悲 101年からの鼓動」。2年後に創立100周年を迎える、南区当麻の「光明学園相模原高等学校」がこのほど、グラウンドを全面人工芝化した。生徒のさらなる飛躍を願うとともに、地域に根付く学校として周辺環境も留意した機能を合わせ持つグラウンドとなった同校は、創立100周年を見据えた大きな一歩を踏み出した。

「砂埃解消」「ナイター設備も完備」

J R相模線・原当麻駅から徒歩7分の「光明学園相模原高等学校」では、緑豊かで伸び伸びとした環境の中、生徒らが日々、授業と部活に励んでいる。校舎の東側に位置する同校のグラウンド(約5800㎡)

は、体育授業や各部活動の場でも望ましい教育施設である。これまでの土グラウンドでは、雨天時の水溜りや乾燥期の砂埃、薄暗い照明施設、十分な防球対策など、多くの課題を抱えていた。これからの課題を解決する

新しいグラウンドに生まれ変わった。

とともに、周辺住民にとっても望ましい教育施設である。また、100周年に向けた柱の事業として「グラウンドの全面人工芝化」を昨年着手。29年3月末、様々な設備を兼ね備え、環境に配慮した

5月2日 関係者ら招き 盛大に竣工式

同 校では新グラウンドを記念して5月2日、関係者らを集めて竣工式を盛大に執り行った。

▲校舎とほぼ同面積の人工芝グラウンドの横には50mトラックも整備。照明設備も完備。夜間の部活動の練習に備えた照明には、全てLED電球を設置している。さらに、災害時には周辺住民を含めた一時避難所としても利用できる設備を持ったグラウンドとなっている。

晴天に恵まれた竣工式当日は、地域・学校関係者や施工業者、PTAなど約120人が出席。同校創立の地でもある「当麻山無量光寺」の住職・飯田覚上人による安全祈願法要が執り行われた後、こけら落としとして女子ソフトボール部による紅白戦が行われた。練習試合ながら、部員らは大きな声で掛けあいグラウンドを走り回り、練習の成果を披露。勢いある部員らの様子に、観戦した関係者らも拍手を送っていた。



人工芝グラウンド竣工式・竣工祝賀会のようす=5月2日、同校にて

「活躍する姿楽しみ」

試合終了後は、そのまま食堂ホールに移動し「竣工祝賀会」に移った。初めのあいさつで同校の井上正明理事長は、「このたびは素晴らしいグラウンドに仕上げいただき、施工業者様には大変お世話になりました。いつも学校運営にご理解頂いている地域の皆様にも改めて御礼申し上げます」と関係者らに感謝の意を示した。また、来賓代表として登壇したPTA会長の小田野勝雄さんは「緑豊やかなグラウンドで生徒たちが活躍する姿を想像すると体育祭が今から楽しみです」とコメントを寄せた。グラウンドの工事経過報告や来賓の祝辞などが紹介された後、乾杯、歓談に移った。



100周年見据え 「発展の契機に」



学校法人光明学園 井上 正明 理事長

「以前より生徒の教育環境の充実、地域環境の改善を図るべく、念願でもありましたグラウンドの人工芝の整備が滞りなく進み、周年の100年を待たずして完成しましたこと、各関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。さっそく生徒たちは4月から利用しており、大雨の翌日も終日走りまわっている姿を目にするたび、改めて事業を進めて良かったと安堵しております。授業や部活動以外にも、体育祭や幼稚園の運動会等の行事でも使用していく予定です。創立100周年を2年後に見据えた本校が、これまで以上に発展する大きなきっかけになればと願っております」

原動力は「恩返し」

男子サッカー部

運 動部から文化部まで多数ある同校の部活動の中で、現在最大規模を誇るのが「男子サッカー部」。これまでは、同校から少し離れた下溝の土グラウンドで練習を行っていたが、完成した人工芝で生徒がボールを追いかける姿に「サッカーを心から楽しんでいるよう」と武田大輔監督。芝が変わったこの数カ月の間でも、技術が格段に上達しているという。

同部のスローガンは「感謝のために頑張ろう」。保護者やお世話になっているすべての人への恩返しを意識を込めて練習に励む。その精神がチーム全体に深く根付いており、学年の上下の隔りもなくサッカーに打ち込む環境が整っている。

さらなる飛躍へ

人工芝グラウンドで練習に励むサッカー部/ソフトボール部



男女ともに全国へ

男子・女子ソフトボール部

42 年の歴史を持つ、男子ソフトボール部。過去にはインターハイベスト4や国体準優勝など輝かしい成績を誇り、現在も県を代表する強豪校として名を連ねる。一方、ここ近年めきめきと力をつけているのは女子ソフトボール部。男子と同じ約30人の部員を有している同部は、今年から新体制となり、人工芝のグラウンドで昼夜練習に励んでいる。

平成元年より部を牽引している中嶋正顧問は強みを「モチベーションの高さ」と断言。生徒がスポーツに積極的に取り組める環境作りを整え、ソフトボールの面白さを伝え続けている。特に注力していることに、「投手力」をあげ、チーム力の底上げを図る。

男子・女子ともに勢いあるソフトボール部を持つ高校は、県下でも珍しいという。「男女そろって全国へ」。互いに切磋琢磨しながら、夏の舞台に挑む。

2019年、光明学園相模原高等学校は創立100周年を迎えます。



光明学園 相模原高等学校

総合コース

体育科学コース

文理コース

〒252-0336

相模原市南区当麻856

電話 042-778-3333(代)

FAX 042-778-4271

http://www.komyo.ed.jp